

2014年9月29日

株式会社 リクルート ホールディングス

リクルートホールディングスが運営するギャラリー「ガーディアン・ガーデン」にて9/29スタート！ グラフィック界の次世代を担う若手を発掘する 第11回グラフィック「1_WALL」展

株式会社リクルートホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO：峰岸真澄）が運営するギャラリー「ガーディアン・ガーデン（<http://rcc.recruit.co.jp/>）」では、2014年9月29日（月）より10月23日（木）の期間、第11回グラフィック「1_WALL」展を開催いたします。

グラフィック「1_WALL」とは

ガーディアン・ガーデンでは、**個展開催の権利をかけた公募展、第11回グラフィック「1_WALL」展を開催**いたします。ポートフォリオ審査による一次審査と、1対1で審査員と対話をする二次審査を通過したファイナリスト6名が、ひとり一壁面を使って作品を発表するグループ展に挑みます。会期中の**10月8日（水）には、グランプリを決定する公開最終審査が開催**されます。一般見学者にも公開されたファイナリストによるプレゼンテーションが行われ、審査員による議論の後、グランプリが決定いたします。グランプリ受賞者には1年後の個展開催とパンフレット制作の権利が贈られます。

第11回目の今回は、同じ人物イメージを何度もトレースして描いたキッシュでユーモアあふれる人物画や、言葉になる前のぼんやりとしたイメージを吹き出しやシャボン玉のようなシンプルな線で描いたドローイング、また石膏やセラミックボードにこすりつけた塗料を針で削るようにして綿密に描いた日用品や人物など、さまざまな作品が集まりました。

一体誰がグランプリを獲得するのか、ぜひ皆さんの目でお確かめください。



「1_WALL」とは

「1_WALL」は、リクルートホールディングスが運営するギャラリー、ガーディアン・ガーデンでの個展開催の権利をかけた、グラフィック、写真の2部門からなる公募展。グランプリに到達するまでに、ポートフォリオ審査に始まり、審査員と1対1で行うポートフォリオレビュー、ファイナリスト6名によるグループ展と会期中の公開最終プレゼンテーションに至るまで、何度も自分の作品と向き合うこととなります。その過程こそが「1_WALL」というコンペティションなのです。

「1_WALL」展

<展覧会概要>

- 企画展名 第11回グラフィック「1_WALL」展
- 会期 2014年9月29日（月）～10月23日（木）
11:00a.m.～7:00p.m. 日曜・祝日休館 入場無料
- 会場 ガーディアン・ガーデン
〒104-0061 東京都中央区銀座7-3-5 ヒューリック銀座7丁目ビルB1F
TEL 03-5568-8818 <http://rcc.recruit.co.jp/>

<公開最終審査>

2014年10月8日（水） 6:00p.m.～8:30p.m. 見学予約 TEL:03-5568-8818

リクルートホールディングスではこれからも、「働く、学ぶ、住む、結婚、育児、旅、車、趣味や暮らし情報」など、さまざまな場面でユーザーが新しい発見・機会創出できるサービスを提供し、一人ひとりにあった「まだ、ここにない、出会い。」を届けることを目指していきます。

【本件に関するお問い合わせ先】
<https://www.recruit.jp/support/form/>



河野裕麻 Yuma Kawano
1987年生まれ
京都造形芸術大学情報デザイン学科写真コース
卒業

「すべての私をつかまえて」
今、この瞬間の感情を視覚化したい。
それはありのままの"人間"を描くこと。



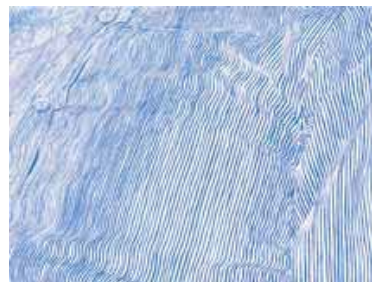
寿司みどり Midori Susi
1987年生まれ
東京芸術大学美術学部絵画科日本画専攻卒業

「肖像」
私は人物画を主に制作しています。今回の肖像は自分の使えるすべてのものを利用して制作した人物画です。いいものが出来たので、是非ご覧ください。



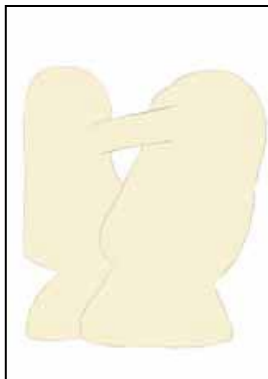
田岡菜甫 Naho Taoka
1993年生まれ
武蔵野美術大学造形学部油絵学科油絵専攻
3年在籍

「満足な男」
筆跡を連続させ思考が現れる時を待ちます。自分の絵から離れられる線を引きたいです。



田淵正敏 Masatoshi Tabuchi
1983年生まれ
多摩美術大学美術学部グラフィックデザイン学科
卒業

「stripe」
シャツの柄がどのように繋がって形を成しているかは注意深く観察しなければ分からない。



中島あかね Akane Nakajima
1992年生まれ
武蔵野美術大学造形学部視覚伝達デザイン学科4年在籍

「ゆっくり深呼吸してからはなしましょう」
いつもあるのは
すって はいて 浮かんでる
ことばではない「なにか」です。
人にみられずに、入道雲みたいにぐんと大きく育て



山川友美 Tomomi Yamakawa
1993年生まれ
京都造形芸術大学情報デザイン学科3年在籍

「〇〇賞」
私の思う反イラストレーション。それが私なりのノーフィクション。

審査員（五十音順・敬称略）

居山浩二（アートディレクター、グラフィックデザイナー）

1967年生まれ。多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業。日本デザインセンターを経て、イヤマデザイン設立。主な仕事に集英社「ナツイチ」、カモ井加工紙「mt」、東京大学医科学研究所など。JAGDA新人賞、カンヌ国際広告祭金賞、SPIKES ASIAグランプリ、NY ADC金・銀・銅賞、D&AD銀賞、One Show 銀賞など受賞多数。

大原大次郎（グラフィックデザイナー）

1978年神奈川県生まれ。2003年武蔵野美術大学基礎デザイン学科卒業。同年omomma設立。デザインワークや映像制作に従事するほか、展覧会、ワークショップ、パフォーマンスなどを通して、言葉や文字の新たな知覚を探るプロジェクトを多数展開する。2014年JAGDA新人賞、TDC賞受賞。 <http://omomma.in/>

都築潤（イラストレーター、グラフィックデザイナー）

1962年生まれ。主な仕事に、TVドラマ「ギフト」「人にやさしく」のタイトルマーク、日本IBM「コンピュータミュージアム」、NIKE「play」、日本HP「adaptive infrastructure」など。日本グラフィック展、TIAA、カンヌ国際広告祭、アジアパシフィック広告祭ほか受賞多数。京都造形芸術大学准教授、多摩美術大学非常勤講師。

長崎訓子（イラストレーター）

1970年東京生まれ。多摩美術大学染織デザイン科卒業後、フリーのイラストレーターとして、書籍、広告などで活動中。代表的な装画に『金持ち父さん貧乏父さん』（筑摩書房）、『武士道シックスティーン』（文藝春秋）など。女子美術大学デザイン学科准教授。

室賀清徳（『アイデア』編集長）

1975年新潟県生まれ。東京大学文学部美学芸術学専修課程卒業。（株）誠文堂新光社にてデザイン誌『アイデア』をはじめ、デザイン関連書の編集に携わる。第8回竹尾賞審査員特別賞。

「1_WALL」審査の流れ



一次審査
(ポートフォリオ審査)
二次審査に参加する30名
を選出



二次審査
(ポートフォリオレビュー)
審査員が一次審査通過者
と一対一でポートフォリオ
審査し、6名を選出



「1_WALL」展
二次審査を通過した6名による
グループ展



公開最終審査
※10月8日
「1_WALL」展会期中に、グラ
ンプリを決定する最終審査を
公開で開催



グランプリ受賞者個展
1年間の制作期間を経て、ガー
ディアン・ガーデンで個展を開
催。個展にあわせてパンフレッ
トも制作